

平成29年度環境・食育校種間連携パートナーズクール事業

## 里山 ～人と森の調和と共生～

平成29年6月8日（木）、府立須知高等学校において平成29年度環境・食育パートナーズクール事業がスタートしました。

今年度は「里山～人と森の調和と共生～」をテーマに里山についての理解を深めることを目的として、京丹波町立蒲生野中学校、府立須知高等学校、京都大学大学院が連携をして取り組みます。

第1回目の今回は竹について学ぶという観点から、大学院生から竹の秘密についての講義を受け、竹の生態や放置竹林の現状と解決策、筍（たけのこ）の灰汁（アク）について学びました。竹の秘密について学んだ後は、高校の山に入りウィードの森の散策、高校生から筍の皮むき、灰汁抜きについて学びました。

ウィードの森の存在を初めて知った中学生も多く身近に歴史のある森があることに感動した様子でした。筍の皮むきは最初は悪戦苦闘していましたが、高校生の指導の下、上手く皮がむけた時には中学生の顔からは笑みがこぼれ、筍の灰汁抜きが筍を美味しく食べるのに不可欠であることを学び納得した様子でした。

体験を終えた中学生からは、「里山を身近に感じることができて貴重な体験でした。」「筍の皮むきが楽しかった。」などの感想が聞かれ、里山に興味・関心を持った様子でした。

次回は6月22日（木）に薪割り体験をする予定です。

